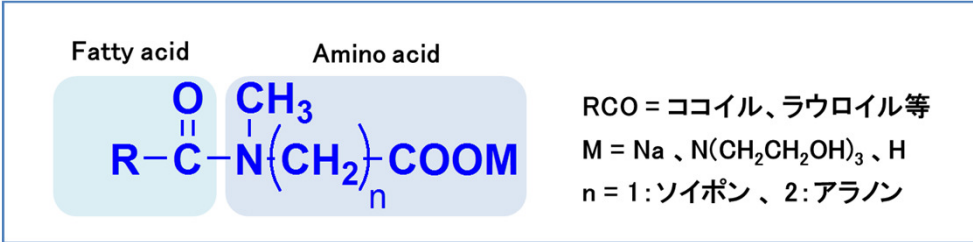


ソイポン・アラノンによる泡量向上効果

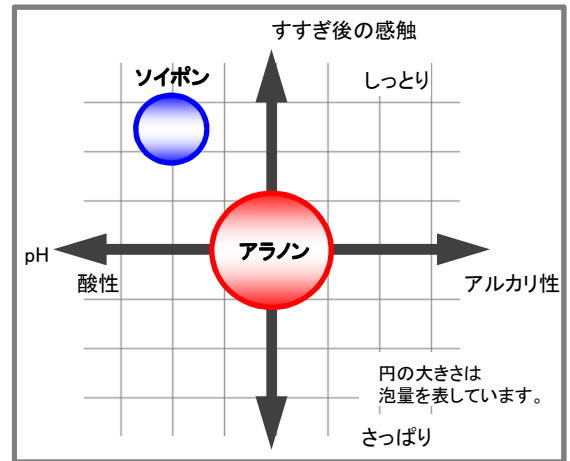
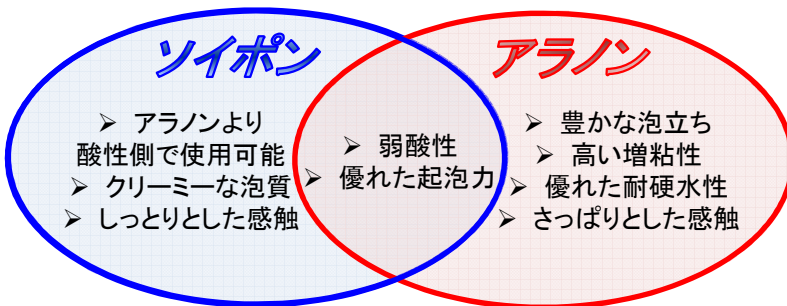
川研ファインケミカルのアミノ酸型界面活性剤のソイポン(アシルサルコシン塩)・アラノン(アシルメチルβアラニン塩)には、他種のアニオン性界面活性剤と併用することにより泡量を増加させる効果があります。また、併用に伴い処方系を増粘させやすくすることも可能です。是非ご検討ください。

■ 構造式・一般情報

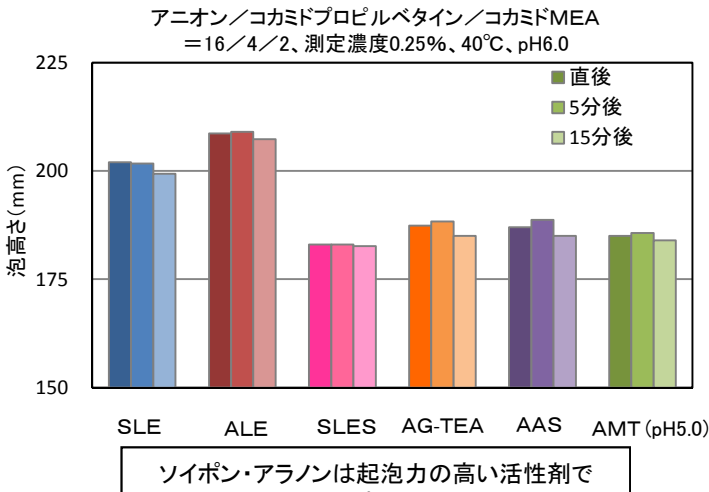


製品名	外原規2006成分名	表示名称	INCI name	性状	含量(%)	荷姿
ソイポン SLE	ラウロイルサルコシンナトリウム	ラウロイルサルコシンNa, 水	SODIUM LAUROYL SARCOSINATE, WATER	無色～微黄色透明液体	30%	18kg C/N 200kg D/M
アラノン ALE	ラウロイルメチル-β-アラニンナトリウム液	ラウロイルメチルアラニンNa, 水	SODIUM LAUROYL METHYLAMINO PROPIONATE, WATER	無色～微黄色透明液体	30%	18kg C/N 200kg D/M

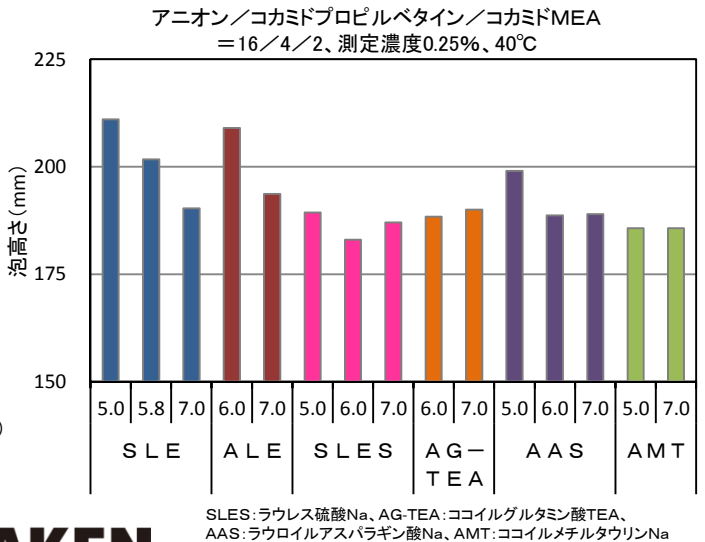
■ ソイポン・アラノンシリーズの特徴



■ ロス・マイルス起泡力の比較

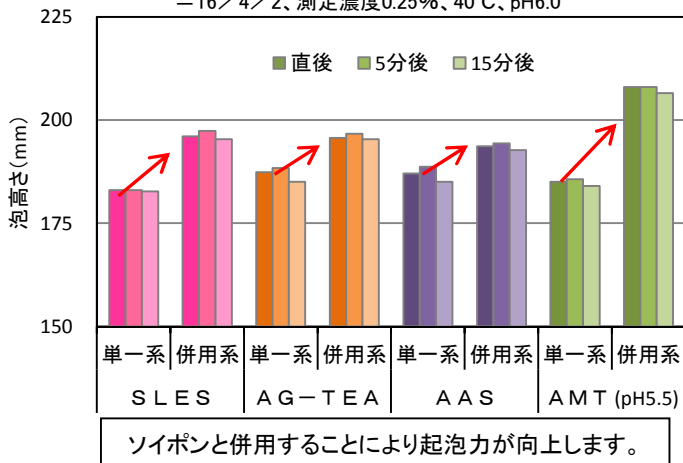


■ ロス・マイルス起泡力(pH依存性)



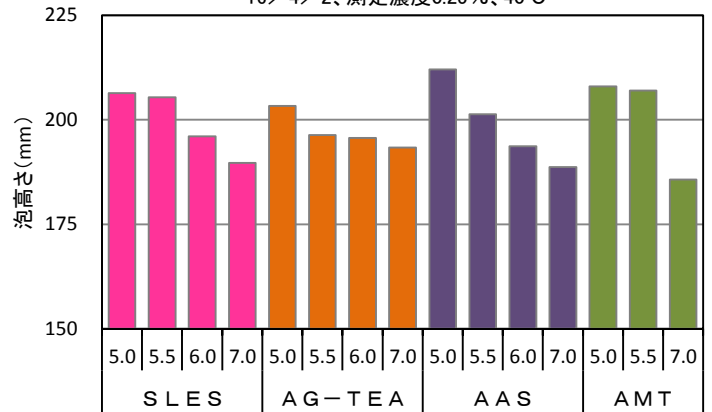
■ ソイボンSLEによる増泡効果

(ソイボンSLE: アニオン=1:1) / コカミドプロピルベタイン / コカミドMEA
=16/4/2、測定濃度0.25%、40°C、pH6.0



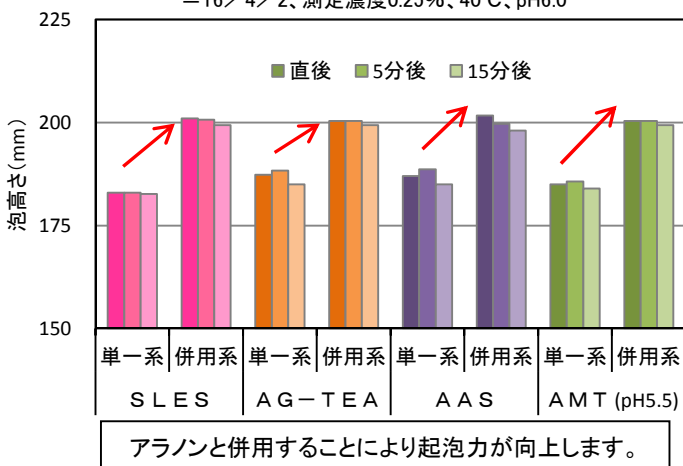
■ pH依存性

(ソイボンSLE: アニオン=1:1) / コカミドプロピルベタイン / コカミドMEA
=16/4/2、測定濃度0.25%、40°C



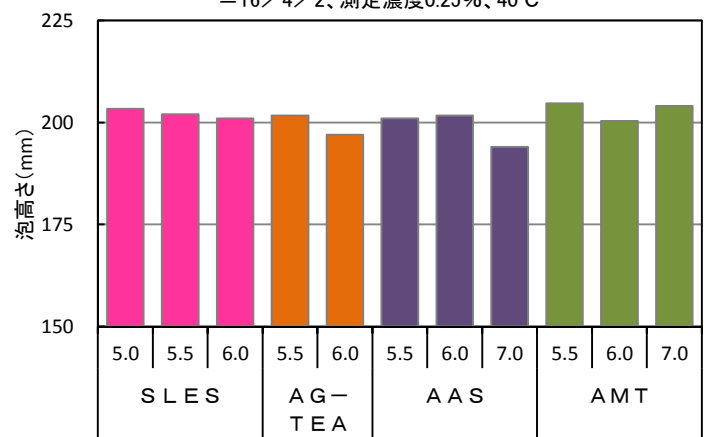
■ アラノンALEによる増泡効果

(アラノンALE: アニオン=1:1) / コカミドプロピルベタイン / コカミドMEA
=16/4/2、測定濃度0.25%、40°C、pH6.0



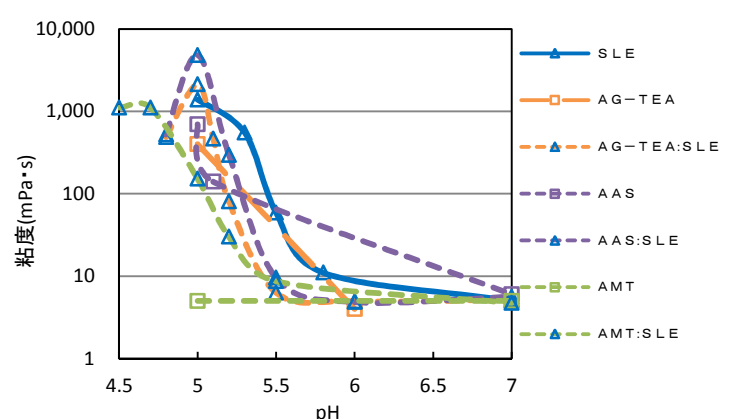
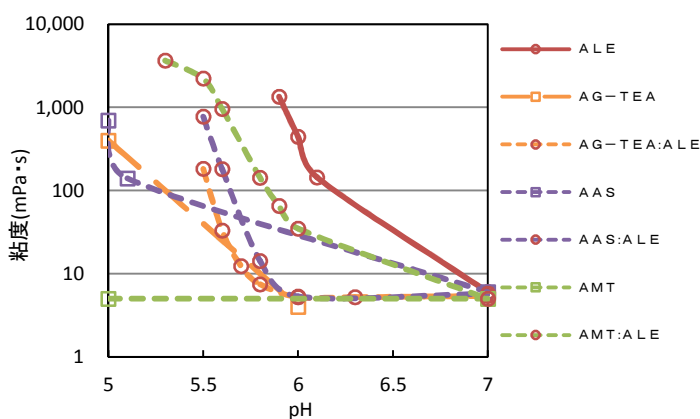
■ pH依存性

(アラノンALE: アニオン=1:1) / コカミドプロピルベタイン / コカミドMEA
=16/4/2、測定濃度0.25%、40°C



■ ソイボンSLE、アラノンALEによる粘度挙動 (pH依存性)

アニオン/コカミドプロピルベタイン/コカミドMEA=16/4/2、総界面活性剤濃度22%、25°C



アミノ酸型界面活性剤はpHを下げることで粘度を上げることができますが、ソイボン・アラノンを併用することで、粘度向上が容易になります。

SLES: ラウレス硫酸Na、
AG-TEA: ココイルグルタミン酸TEA、
AAS: ラウロイルアスパラギン酸Na、
AMT: ココイルメチルタウリンNa

川研ファインケミカル株式会社 ライフ事業部

本社 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-3-3(堀留中央ビル)
TEL.03-3663-9521(代) FAX.03-3661-5630
大阪営業所 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-2-6(阪本ビル)
TEL.06-6201-1631 FAX.06-6227-0755
URL: <http://www.kawakenfc.co.jp>

KAWAKEN

ソイボン・アラノンの泡量向上; 2015.3.13.